

# ～品川第一地区～

# 総合防災訓練



◎消防少年団や品川学園の生徒も活躍しました！



◎今年は、濱野区長が訓練を視察しました。



平成26年11月16日(日)、台場小学校で、品川区防災協議会品川第一地区協議会主催の総合防災訓練が開催されました。総合防災訓練は、「自分たちの町は自分たちで守る」という町ぐるみの防災意識の高揚と、「配備されている防災資機材について、使用技術の向上を図る」という、「自助・共助」の強化を図るための訓練です。当日は品川第一地区の全ての町会自治会が参加し、関係者を含め1,584名の参加者数となり、地域の皆さんの防災意識の高さを示すものとなりました。

今回は、「初期消火訓練」「応急救護訓練」「災害対応訓練」の体験訓練、次に地域住民・消防団・消防署・警察署による「合同演習」、ミニポンプ隊および消防団による「一斉放水訓練」を実施しました。

## 1 体験訓練

初期消火訓練ブースでは、クレンダーとスタンドパイプによる消火訓練を、応急救護訓練ブースではAED使用法と簡易タシの組み立て訓練を、災害対応訓練ブースでは倒壊家屋からの救出訓練、ロープワークの体験訓練、展示ブースの見学を行いました。品川警察署の協力で今年度新たに実施したロープワーク訓練では、「素早く結べて、ほどこけにくい結び方」を学び参加者の皆さんも実際に体験してみました。



## 2 合同火災演習

「合同演習」では、大地震発生に伴う家屋の倒壊や車両の放置により道路がふさがれ、自動車が入り入れない状況における火災発生を想定し、警察署、消防署、消防団、地域の皆さんが連携して活動する訓練を行いました。

初めに、品川警察救助隊による放置車両の撤去、道路啓開を行いました。続いて消火活動として、東品川一・三町会ミニポンプ隊によるD級ポンプ、湧崎町会区民消防隊によるC級ポンプ、品川消防団第一分団の可搬ポンプ積載車による見事な放水を披露しました。

続いての救出活動では、品川消防署の消防隊員が「吊担架」という救出器具を使



用して、2階から逃げ遅れた人がいるという想定のもと救出訓練を実施。救出された人は、品川消防団第一分団によって救護所まで搬送されました。また同時に倒壊家屋からは品川警察救助隊が要救助者を救出しました。

この演習を通じて、総合防災訓練の中で行った各種訓練が、実際の災害現場でどのように活用できるのかということ、訓練参加者が直接見て理解することができました。

## 3 一斉放水訓練

また最後に行われた一斉放水訓練では、品川学園の生徒で構成されたポンプ隊の2隊、品川消防少年団、北品川二丁

目町会、湧崎町会、東品川一・三町会、櫻心会町会、北品川第2アパート自治会、品川消防団第六分団、品川区職員ポンプ隊がポンプ操作訓練を実施し、チームワークのとれた見事な放水を披露して見学者から歓声と大きな拍手が送られました。

◎町会のミニポンプ隊による放水



## 品川学園 避難所運営訓練

平成26年12月5日(金)、品川学園で、品川学園避難所連絡協議会主催の避難所運営訓練が実施されました。品川学園避難所の対象は、北品川二丁目町会、北品川三丁目親和会、南品川アパート自治会の区民の方です。



今年度の訓練は、12月14日(日)に区内一斉防災訓練として実施する予定でしたが、衆議院議員選挙投票日と重なったため日程を変更し、避難所運営会議のメンバーを対象とした訓練に変更しました。内容は、「給水用スタンドパイプセットの組み立て訓練」と「仮設トイレ用テントの組み立て訓練」を行いました。

「給水用スタンドパイプセット」とは、東京都水道局より貸与された新しい資機材で、災害時に路上消火栓から飲み水を確保するための資機材セットです。主に消火栓に接続する「スタンドパイプ」、蛇口となる「仮設水栓のセット」、スタンドパイプと蛇口をつなぐ「接続ホース」、水質をチェックする「残留塩素検査キット」などで構成されます。訓練参加者は、資機材の説明を熱心に聞き、さっそく組立に挑戦。今回は組み立てのみでしたが、「実際に水も出してみたい」といった意見も頂きました。